

言語文化「東アジア漢文文化圏」その2（朝鮮半島と日本）
（韓国に於ける「日本文化読解」）

目次

第1課	イソップの童話
第2課	日本のすがた
第3課	昔話
第4課	日本人のメンタリテイ
第5課	日本社会の諸相
第6課	日本文化とマンガ
第7課	随筆を読む
第8課	外国文化と接触
第9課	政治と日本人
第10課	国際経済と日本
第11課	近代を問う
第12課	小説を読む
第13課	心にふれる言葉と詩
第14課	言語を考える
第15課	日本人倫
第16課	その他

第1課 イソップの童話

1, [うさぎとかめ](#) ↓現代版「[うさぎとかめ](#)」「[ウサギとカメの教育文化史](#)」

2, ありときりぎりす

3, 北風と太陽

参考文献：講談社『イソップどうわ』

画像：ニホンざる。鯉のぼり。

4, がんばれ 中国語「加油（ジヤーヨ）」、韓国語「発奮せよ（イギョラ、ヒネムラ）」

参考文献：凡入社『日本語いろいろ2』

キイワード：大宅壮一。テンション民族。天沼香。「気ばらずに」

画像：七五三

第2課 日本のすがた

1, 日本の自然

参考文献：名古屋大学出版会『現代日本語コース1』

キイワード：面積三十七万七六〇〇平方km。島国（島国根性）。細長い列島。火山。四季。

自然の災害（地震・台風・火事）。

画像：雛祭り

2, 日本の人口

「一九九五年」一億二一五七万人 中国（十二億八七七二万人）。インド（九億一八五七万人）。アメリカ（二億六〇六五万人）。インドネシア（二億九二二二万人）。ブラジル（二億五三七三万人）。ロシア（二億四八〇〇万人）。パキスタン（一億二六六一万人）

データ資料：日本年代表

「内容及び主題研究」

①日本の人口と韓国の人口を比べてみよう。

②東京都の人口とソウルの人口を比べてみよう。

③日本の人口の大多数はどの地域に住んでいるのか。

3, 日本人の祖先

参考文献：学生社『日本』

キーワード：蒙古斑。石器や人骨。移住して文化を伝える。混血。

画像：浮世絵

「内容及び主題研究」

①日本列島にはいつ頃から人間が住んでいたのか。

②なぜ、日本人は蒙古人種に属するといわれているのか。

③日本人の祖先と韓国人との関わりについて調べてみよう。

4, 地方区分

参考文献：国勢社『日本のすがた二〇〇〇』

キーワード：北海道。東北。関東。中部。近畿。中国。四国。九州。

四〇〇〇の島、北から南までの距離約三〇〇〇km

画像：振り袖

第3課 昔話

1, 挑太郎

昔々あるところに、お爺さんとお婆さんがいました。お爺さんは毎日山へしばかりに、お婆さんは川へ洗濯に行きました。ある日のことです。お婆さんが洗濯していると、桃が一つ流れてきました。どんぶらこっこどんぶらこっこ どんぶらこっこどんぶらこっこ

参考文献：主婦と生活社『日本昔ばなし絵本』

キーワード：生まれ。鬼ヶ島。動物。「さるかに合戦」「一寸法師」「かぐや姫」

画像：挑太郎

2, 鶴の恩返し

ある日のこと、若者が山の中を歩いていると、どこからか哀しそうな声が聞こえてきました。見ると、一羽の鶴が毘にかかって苦しんでいます。「よしよし、助けてやるから待っていな。」

3, 泥棒のしくじり

昔、ある金持ちの家に、泥棒が入りました。冬の夜中のことです。もうおじいさんの主人は、少

しの音でも、すぐに目が覚める癖がありました。ですから、泥棒の忍び込んだのも、すぐに気が付きました。

4, 日本語：現代日本語の特徴10〔箇条書きにできますか?〕

日本語は、独特の文章構造をとり、固有の文字を持ち、ほかの言語とあまり類似していない。系統別には、朝鮮語・アルタイ諸語との同系説が有力であるが、その証明はまだされていない。

- (1) 漢字・平仮名・カタカナ・ローマ字と異なった種類の文字をまじえて用いる。
- (2) 使用する文字の数が多し。(一般通用漢字約三、〇〇〇字「常用漢字一九四五字」、平仮名・カタカナ各々四六字)
- (3) 文章は、縦書きも横書きも行われている。

- (4) 音韻組織が単純で、音節の種類が少ない。(標準母音は、アイウエオの五つ。音節は子音と母音とからなり、常に母音で終わる。単独使用の子音は「ん」のみ。)

- (5) 同じ事物を指すのに、いくつもの単語が用いられる。特に一二人称代名詞は種類が多い。わたし、ぼく、おれ、あなた、きみ、おまえ

- (6) 同じ音で異なった意味を表す単語が多い。

タイショウ【対象・対照・対称】。コウセイ【公正・厚生・更正・構成・後世】。

- (7) 職業・年齢・性別などによる用語の違いが著しい。

- (8) 助詞(が・をなど)、助動詞(ない・だろうなど)が文の成立に大切な機能を果たしている。

- (9) 主語は述語の前に置き、述語は文の終わりに置くが、文節の順序はかなり自由である。

- (10) 敬語が発達していて、複雑である。

第4課 日本人のメンタリテイ

1, 恥・根回し

〔内容及び主題研究〕

- ① 日本人は恥についてどのように思うのか。
- ② 罪の文化と恥の文化とはどんな面が異なるのか。
- ③ 根回しの長所と短所について話し合ってみよう。

2, 本音と建前・和

〔内容及び主題研究〕

- ① 「本音」と「建前」を韓国語に翻訳してみよう。
- ② 日本人が和を重視する文化的背景を知ろう。
- ③ 日本人の精神を理解するキーワードとして、これ以外にどんなことばがあるか。

3, 日本の宗教

日本での主な宗教には、神道、佛教、キリスト教がある。統計によると、特定の宗教を熱心に信仰する日本人は少なく、宗教に無関心と自ら云う物が多い。

この理由はいくつか考えられる。まず、日本人の現世的・楽天的性格があげられよう。美しい自然と恵まれた四季のなかで、日本人は、外敵の侵入も極端な天災もなく、何世代にもわたって過ごしてきた。そのため、宗教を熱心に求める気風がでなかつたのかもしれない。

4, 武士道と切腹

武士道は、鎌倉時代から発達し、江戸時代（一七世紀から一九世紀半ばまで）に儒教的思想に裏付けられて大成した武士階層の道徳体系である。

忠誠・犠牲・信義・廉恥・礼儀・潔白・質素・儉約・尚武・名譽・情愛

第5課 日本社会の諸相

1, 祭り日本人

「内容及び主題研究」

- ①「お祭り騒ぎ」ということばにはどういうニュアンスがあるのか。
- ②「ワッショイ、ワッショイ」という掛け声の語源について調べてみよう。

③日本の代表的な祭りにはどんなものがあるかを調べてみよう。

〔例：神田祭。祇園祭。天神祭〕

2, さまざまな強迫観念

3, スギ花粉症

テレビの天気予報を見ると、いつも、晴れ、雨、曇りなどのマークが出てくる。ところが、毎年二月に入ると、各県ごとに女性の顔が出てくる。そのなかには、マスクをしている女性も入るが、これは何のマークだろうか。

4, 花見

桜と日本人

「春は花、秋は月」ということばがあるが、このときの「花」は桜花のことである。

お花見

いずれにせよ日本人に、桜の花をめぐる気持ちが強いことは時代や品種の違いを乗り越えたものがある。

第6課 日本文化とマンガ

1, マンガと日本人

「内容及び主題研究」

- ①日本は現在世界最大のマンガ王国であり、マンガ輸出国である。『銀河鉄道の夜』『セーラ・ムーン』『ドラゴン・ボール』『ポケット・モンスター』などは今や全世界の子ども達におなじみとなっている。日本がマンガ王国になった歴史的背景は、どういうものであったのだろうか。考えてみよう。
- ②韓国のマンガもかなり高い水準にある。日本と韓国のマンガを比較して各々の特質を考えてみよう。



2, 少女マンガの世界
「使い捨て」ということばがある。漫画は「読み捨て」文化の最たるものではないだろうか。（中

略) 女性向け漫画は、学習物、歴史物、家族物、ポルノグラフィーマがいつものさまざまなジャンルに渡っている。

手塚治虫の描く、少年のようなスタイルをし、正義のために戦う少女、『リボンの騎士』も少女達の心を捉えた。『リボンの騎士』は少女漫画にストーリー性が加わった初めての作品である。

3, 文化としてのマンガ

日本のストーリー漫画の特徴は、説明的な台詞が少なく、齟齬をたくみに利用して、時の流れや心理情景を速いテンポで簡潔に表現することにある。

4, 落語と漫才

落語は江戸時代(一六〇三(慶長八)〜一八六七(慶応三))に発達した寄席演芸で、寄席と呼ばれる演芸場で演じられます。

漫才は主に二人の芸人が一組になり、面白おかしくことばをやりとりして観客を笑わせる寄席演芸の一つです。

第7課 随筆を読む

1, 四つ葉のニッセイ

「ふるさとの我が家に私の歯ブラシのなきこと母に言う大晦日」

ふるさとへは「帰る」、東京へは「上る」——いつのまにか、そんなふうに通詞を使うようになってきた。

「内容及び主題研究」

①「おそばがおいしくつて、雪が降つて、水仙が咲く。足羽山の茶店、足羽河原の桜並木、二両編成の路面電車。福井はあまりにも「ふるさと」だ。こんなふるさとらしくていいんだろうか、と思つてしまうぐらい「ふるさと」だ。ふるさとしすぎてこわい！そんな思いを、私は一方で抱く。だから東京にいる。ホームシックのくせに。福井が好きで堪らないくせに。東京にいる」——この文章には筆者俵万智のどんな気持ちが見えられているだろうか。

②ふるさととはなんだろうか。「心のふるさと」というが、「私の故郷」とはどんなものだろうか。

2, 長崎の昔話

私は心の底から昔の外人を妬んでいる。もともとその頃外人と称されていなくて、西洋人であったが、洋館に住んで、洋服を着て、洋食を食べていた。今のような外人と違つて、寿司を食べたり生け花を習ったりしないで、長崎や神戸や横浜の山の上の洋館の窓から、望遠鏡をもって自国から来る機帆船の入港を眺めることを一番の楽しみにしていた。

3, 外来思想へのあこがれ

六世紀でもなお、こんにち全国の大古墳に眠っている族長たちや氏族の長たちのいくばくかは、なお土地・人民を私有して独立の伝統と氣勢を保っていたが、土地制度をふくむ外来の律令制が導入されると、奇術か魔法にかかったように、それらを手放してしまった。日本史がもつふしぎなはかなさ

である。〔司馬遼太郎『この国のかたち』より〕

〔内容及び主題研究〕

「日本人はいつも思想は外から来るものだと思っている」とはまことに名言であると筆者は言っているが、筆者は日本人と思想との関係をどのようにとらえているのだろうか？皆で一緒に考えてみよう。

4, 贈答社会

オーストラリアからの留学生が夏休み前に、ある日本人の友人を通して、英文の手紙を訳してほしいと頼まれた。

第8課 外国文化と接触

1, たった一人の国際放浪者

2, 接吻

3, 中国の近代と日本の近代

4, 在日朝鮮人・朝鮮人

第9課 政治と日本人

1, 日本人と政治意識

2, 市民と何か

3, 科学と人間の福祉

4, 盆

第10課 国際経済と日本

1, 貿易黒字

2, アメリカのベンチャービジネス

3, 年功序列制

4, 日本の食生活あれこれ

第11課 近代を問う

- 1, 企業家と革命家
- 2, 他者とはなにか

3, アイデンティティ・ゲームとしての恋愛

4, 大学の可能性を問う

第12課 小説を読む

1, 三四郎

2, 雪国

3, 人間失格

4, 近代日本小説の主題と漱石

第13課 心にふれる言葉と詩

1, 字のないはがき — 向田邦子『愛という字』

文中、私を貴女とよび、「貴女の学力では難しい漢字もあるが、勉強になるからまめに字引を引くように」という訓戒も添えられていた。

「内容及び主題研究」

①子ども達に対する韓国の父親たちの愛情表現の仕方について考えてみよう。

2, 死と信仰

3, 生まれて

4, 富士 — 金子光晴『富士』



5, 父の死

第14課 言語を考える

1, 「思う」と「考える」

「内容及び主題研究」

①「思う」と「考える」との意味の違いはどこにあるのか。

②「思う」と「考える」は韓国語ではそれぞれどのように翻訳できるのか、また、日本語で「思

う」と「考える」が使い分けられている理由はどこにあるのか。

2, 言語から文章へ

3, 民族と文法

4, 「あなた」を読む

第15課 日本人論

1, 義理ほどつらいものはない

2, 日本人の思惟方法

3, 中心のない食べ物

4, 正月

第16課 その他

附録1, 日本の手紙文化とその実際

I. 日本人の手紙

II. 書式一覧

附録2, 日本のことわざ

附録3, I. 動詞活用形

II. 形容詞活用表

索引